

高大連携「総合的な探究の時間」

DXで実現する地域のデジタル人材育成事業

デジタルアーキビストの養成

構想中

概要

- 開設時期：2026年4月（予定）
- 名称：デジタルアーキビスト人材養成プログラム
- 対象：高校生
- 講座：オンライン（1日）+ e-Learning



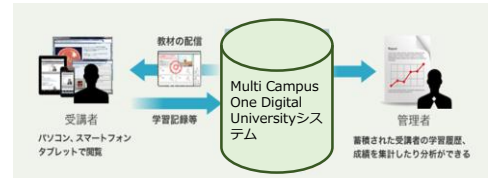
養成する人材像

デジタルアーキビストとは、文化・産業資源等の対象を理解し、著作権・肖像権・プライバシー等の権利処理を行い、デジタル化の知識と技能を持ち、収集・管理・保護・活用・創造を担当できる人材のことをいいます。ここでは、デジタルアーカイブクリエイータ資格と絡め知的財産人材の育成を行います。

本学では、知識循環型社会においてデジタルアーカイブを有効的に活用し、新たな知を創造するという本学独自の「知的創造サイクル」の手法により、地域課題に実践的な解決方法を確立するために、地域に開かれた地域資源デジタルアーカイブによる知の拠点形成を目標としています。このことにより、地域課題に主体的に取り組む人材を養成します。

◆ オンライン研修

新しい社会の Global・Innovationに対応した継続性を必要とした生涯学習の実現のためにe-Learningを基盤としたMulti Campus One Digital Universityシステムによる新しいオンラインの養成プログラムです。



e-Learningの概念図

◆ デジタルアーカイブクリエイータ資格を取得できます

デジタルアーカイブクリエイータは、文化・産業資源等に対し、情報の収集・登録・保存・管理・流通等の知識に加え権利処理等の能力をもち、情報提供等に責任をもって対処できる人材です。本資格取得については、以下の方を対象者とします。

高等学校「教科情報」程度の基礎的な知識と技術を持っている方
【カリキュラム】

テーマ

- デジタルアーカイブの基礎
- デジタルアーカイブ開発と活用プロセス
- デジタルアーカイブの評価とメタデータ
- デジタルアーカイブの利活用
- デジタルアーカイブによる地域活性化
- 文化はどのように記録するの？
- デジタルデータはどのように管理・流通するの？
- デジタルアーカイブと知的財産権（1）
- デジタルアーカイブと知的財産権（2）
- ジャパンサーチとデジタルアーカイブ活用基盤
- 世界のデジタルアーカイブの発展とその活用

◆ 新しい生活スタイルの新しい研修スタイル

この人生100年の時代、教育DX時代の社会の到来に対し、これまでの教員の資質からのキャリアチェンジが人々に求められ、これに対応できる教員研修としての高等教育でのリスキリング（Reskilling）が必要となってきました。本e-Learningの学びは、自宅や職場、移動途中でも、情報端末（スマートフォンやノートPC等）さえあれば「いつでも、どこからでも、誰とでも」学ぶことが可能です。

【令和5年度 実践例】

デジタルアーカイブ

【岐阜県立郡上北高等学校】



総合的な探究の時間
【伊那西高等学校】



講座の内容